

2018年度 図書館講習会 レベル・達成目標一覧表

レベル		■ = 達成要件 □ = 具体的なツール・資料・情報源	
		項目	詳細説明
初級 BEGINNING level	A1	■情報の見定め	必要な情報の性質と範囲を見定めることができる。
		■各情報資源の理解	各種資料・情報源(図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、データベース、webサイト等)について、その価値や相違を理解できている。
		■情報資源の利用	同志社大学で利用できる検索ツールや情報資源を理解し、必要な資料を入手できる。
		■大学図書館の利用	大学図書館の有用性、必要性を理解できている。
			□DOORS(蔵書検索、学術リポジトリ検索)、CiNii Articles(論文検索)、同志社大学図書館所蔵資料
	A2	■調査方法の選択	必要な情報にアクセスするために最適の調査方法やツールを選択することができる。
		■二次情報の活用	二次情報(書誌、文献目録、目録データベース)から、必要とする一次情報を探することができる。
		■検索式の工夫	同義語・関連語・統制語と自然語の概念を理解し、的確なキーワードを用いて検索式を構築することができる。
			□DOGS Plus(ディスカバリーサービス)、目録情報、ILLサービスの利用、シソーラス
	中級 INTERMEDIATE level	B1	■情報の選択
■アイデアの要約			収集した情報から抽出した主要なアイデアを要約することができる。
■信頼性の確認			情報源や検索式を再吟味することにより、情報の理解や解釈の妥当性、信頼性を確認することができる。
		□各種契約データベース、リッテルナビゲーター	
B2	■多様な情報の評価と理解	図書館を含む多様な情報チャンネルと資源を、その有効性、信頼性、妥当性等を評価・理解した上で活用することができる。	
	■探索範囲の自律的拡張	得られた情報を元に、検索対象を適切に拡大していくことができる。	
	■各検索ツールの知識に基づく判断	各検索ツールの仕組みやその違い、特徴などを理解し、適切なツールを選択、最適な検索式を構築することができる。	
		□学外にある主要な検索ツール、引用文献	
上級 ADVANCED level	C	■情報環境の理解	情報と情報テクノロジーを取り巻く、倫理的／法的／社会的／経済的問題を理解することができる。
		■独自のアウトプット	新たな情報とそれまでに得た情報を駆使して、特定の成果やパフォーマンスを計画・創出することができる。
		■成果物の統合・組織化	成果物やパフォーマンスの内容を、その目的に最適な方法・形式で、統合・組織化することができる。
		□あらゆる情報資源、専門家の意見	